

小学校第6学年

国語 B

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから14ページまであります。
- 3 解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、HBまたはBの黒えん筆（シャープペンシルも可）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は、40分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 つくえの上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書きましょう。

問題は、次のページから始まります。

六年生の山中さんは、「小学生の体力は二十年前よりも低下した」という記事を読んで、興味をもちました。そこで、自分たちの小学校における五十メートル走の平均タイムの変化について調べ、次の報告文を書きました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

五十メートル走の平均タイムの変化

第一小学校 六年 山中 洋平

一 調べた理由

「小学生の体力は二十年前よりも低下した」という記事を見つけた。そこには、全国の小学校六年生の五十メートル走の平均タイムが下の【表】のようにまとめられていた。平成十九年のタイムが、二十年前の昭和六十二年よりもおそくなっていた。

【表】50メートル走の平均タイムの変化
(全国の小学校6年生)

男子		女子	
昭和62年	平成19年	昭和62年	平成19年
8秒60	8秒91	8秒91	9秒19

(右下に続く)

ぼくたちの学校でも同じだろうかというぎもんがわいてきた。そこで、第一小学校の平均タイムの変化について調べ、記事と比べてみることにした。

二 調べた内容と結果

第一小学校における六年生の五十メートル走の平均タイムの変化について、平成二十一年(現在)と、昭和六十二年(記事で取り上げられていた約二十年前)を取り上げて調べた。

(左上に続く)

◆平成二十一年の第一小学校六年生の平均
タイム

一つめとして、ぼくたち六年生の平均タイムを調べた。

まず、体育の時間に学年全員の五十メートル走のタイムを計った。走った人数は、男女ともに三十五人ずつだった。

次に、平均タイムを先生に出してもらった。平均タイムは、男子は九秒〇、女子は九秒三だった。

◆昭和六十二年の第一小学校六年生の平均
タイム

二つめとして、昭和六十二年のぼくたちの小学校の六年生の平均タイムを調べた。

学校図書館でさがしたが、データが見つからなかった。そこで先生に相談すると、

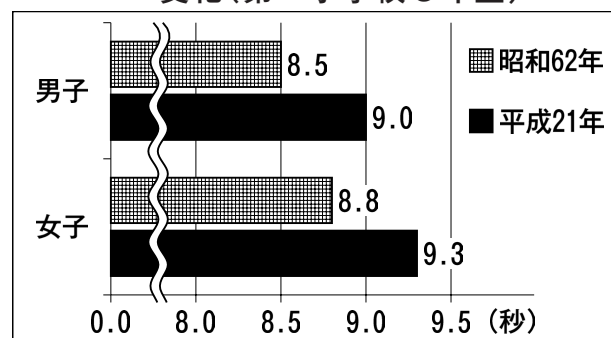
先生がデータを見つけてくださった。平均タイムは、男子は八秒五、女子は八秒八だった。

(右下に続く)

三 まとめ

平成二十一年と昭和六十二年の第一小学校の平均タイムを、下の「グラフ」のよう

【グラフ】50メートル走の平均タイムの変化(第一小学校6年生)



A

調査をきっかけに、もっと速く走れるようになるにはどうすればいいのだろうか?と考えるようになった。

これからも、体力や運動の仕方などに関心をもって、いろいろな本を読んで調べたり、積極的に運動に取り組んだりしたい。

一 次は、山中さんが調べる内容を書いたメモの一部です。報告文の「二 調べた内容と結果」を読んで、アの中に入るふさわしい内容を書きましよう。

【メモの一部】

◆平成二十一年の平均タイム

①

ア

◇ 日時 平成二十一年四月十五日 三時間目

◇ 場所 運動場

◇ 人数 男子三十五人 女子三十五人

◇ 準備 記録用紙、ストップウォッチ、コーン
...

② 平均タイムを先生に出してもらおう

◆昭和六十二年の平均タイム

...

川口さんの学級では、家族の一員としてできることを考えるために、家庭での過ごし方について調べました。次は、川口さんのグループが集めた資料をもとにした話し合いの様子の一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

【資料】家の中のそうじや整とんをする小学校6年生の割合

	いつも している	ときどき している	あまり していない	まったく していない	無回答 など
平成16年	15%	52%	24%	9%	0%
平成17年	14%	48%	29%	8%	1%

(国立オリンピック記念青少年総合センター

「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」による。)

司会 ここからは、川口さんたちが集めた【資料】をもとに

して、「家の中のそうじや整とん」について話し合います。【資料】を見て分かったことや考えたことを発表してください。

川口 平成十六年を見ると、「いつもしている」人が少ないと思います。家の中のそうじや整とんはむずかしいことではないと思います。家族の一員としての自覚をもって、積極的に取り組むべきではないでしょうか。

松山 確かに、平成十六年の「いつもしている」は十五％しかいません。でも、「ときどきしている」を合わせると、六十七％もいます。むしろ、よく取り組んでいるほうだと思います。

司会

今、二人は、平成十六年の割合から考えた意見を出してくれましたが、平成十七年の割合からも考えてみてください。

村田

わたしは、平成十七年の「あまりしていない」と「まったくしていない」に注目しました。この二つを合わせると、三十七%にもなります。しかも、平成十六年よりも増えているので、もっと取り組んだほうがいいと思います。

あなたの発表

ア

〽 (話し合いが続く) 〽

一 話し合いで出された意見を次の の中にある二つに分けます。「川口・松山・村田」の三人は、それぞれA・Bのどちらの意見になりますか。 の中に、それぞれAかBのどちらかふさわしいほうを選んで書きましよう。

A 最近の小学校六年生は、家の中のそうじや整とんによく取り組んでいるという意見

B 最近の小学校六年生は、家の中のそうじや整とんにあまり取り組んでいないという意見

※解答は、解答用紙に書きましよう。

川口

松山

村田

二 あなたは、ア のところで、前のページの にある **A** の意見の立場から発表することになりました。あなたならどのような内容を発表しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

【条件】

- 平成十七年の割合(%)を取り上げること
- 六十字以上八十字以内にまとめて、発表するように書くこと

(メモ) ※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

80字 60字

3

上野さんの学級では、マナーに関する本を読んで、自分の考えをまとめることにしました。上野さんは一冊の本を読んだ後、本の「はじめに」と「おわりに」とを合わせて読んで、内容を確かめることにしました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

※段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

はじめに

(辰巳渚) 『これだけは知っておこう！ マナー・エチケットの基本60』による。

おわりに

(辰巳渚『これだけは知っておこう！ マナー・エチケットの基本60』による。)

(辰巳渚『これだけは知っておこう！ マナー・エチケットの基本60』による。)

※1 「ワンランク」……一つの段階や順位。

※2 「潤滑油」……物事をうまく運ぶためのなかだちとなるものたどえ。

― 上野さんは、「はじめに」の第1段落の表現がくふうされていることに気付きました。そのくふうを説明したものとして、もっともふさわしいものを次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 筆者が失敗した体験をもとにして、マナーのむずかしさを考えさせている。
- 2 筆者の体験と読者の体験のちがいを比べて、マナーの大切さを示している。
- 3 読者の体験を思い出させて、マナーを身近な問題としてとらえさせている。
- 4 読者が体験したマナーのまちがいを示して、具体的な行動の方法を教えている。

二 上野さんは、「はじめに」と「おわりに」の中に書いてある筆者の考えを次のようにノートにまとめました。あとの問いに答えましょう。

【上野さんのノートの一部】

① 「はじめに」の中に書いてある筆者の考え

「知識一〇〇点、行動〇点」よりも、「知識^ア五〇点、行動五〇点」の人のほうが、ずっと立派です。

マナーについての知識は十分であるのに、全く行動しない人よりも、

A

人のほうが立派である。

② 「おわりに」の中に書いてある筆者の考え

マナーやルールには、もうワンランク上のむずかしい点があるわけです。

B

さらに、マナーやルールのむずかしい点は、

(1) 上野さんは、ア——部を自分の言葉で書きかえることにしました。
 るふさわしい内容を筆者の考えに合わせて書きましょう。

A

の中に入

(2) 上野さんは、イ——部をよく理解するために書きかえることにしました。
 中に入るふさわしい内容を筆者の考えに合わせて、書き出しの言葉に続けて、**六十**
字以上八十
字以内にまとめて書きましょう。

B

の

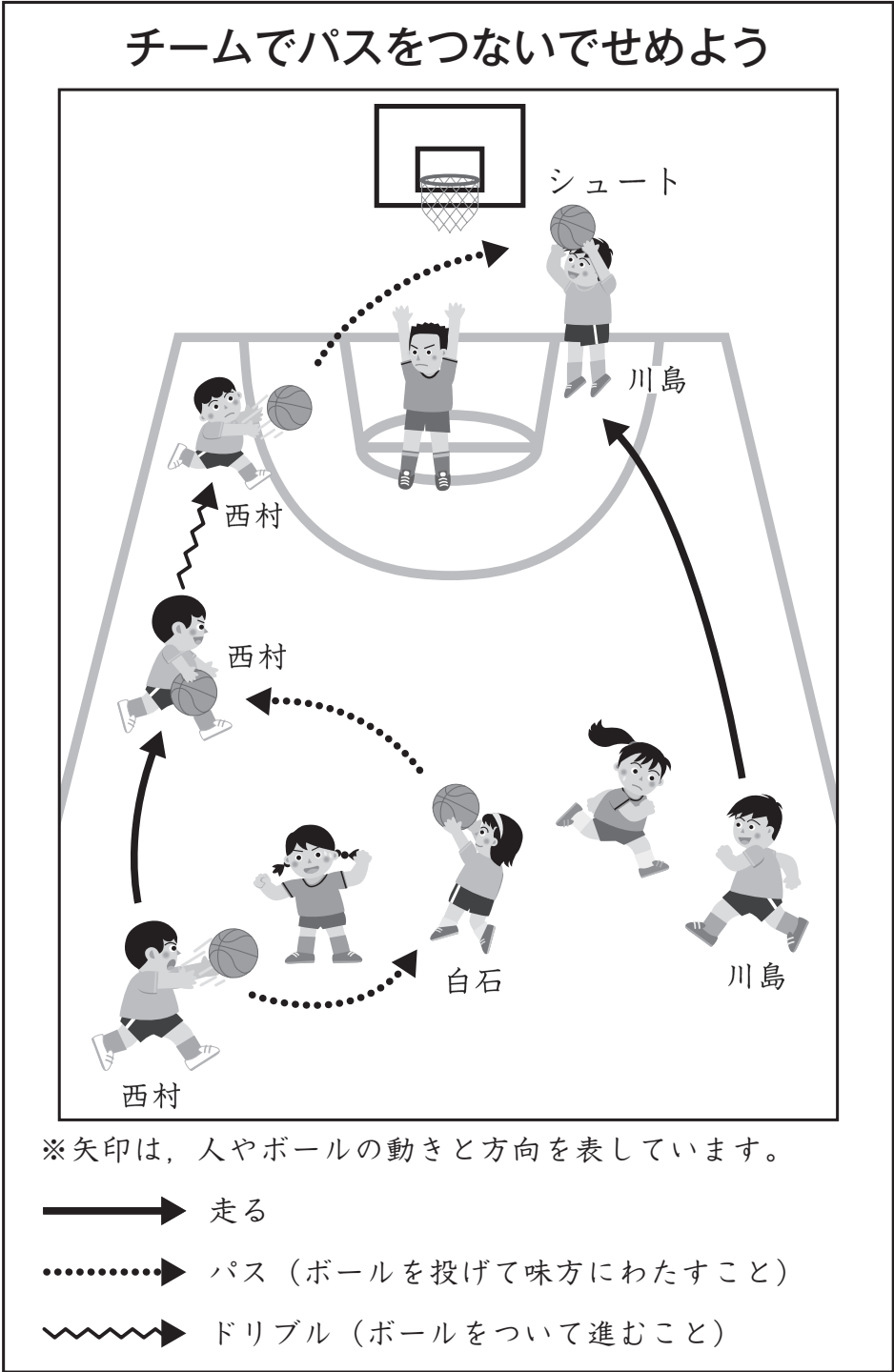
(メモ) ※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

			さ
			ら
			に
			、
			マ
			ナ
			ー
			ヤ
			ル
			ー
			ル
			の
			む
			ず
			か
			し
			い
			点
			は
			、

80字 60字

4

【西村さんのチームの作戦図】

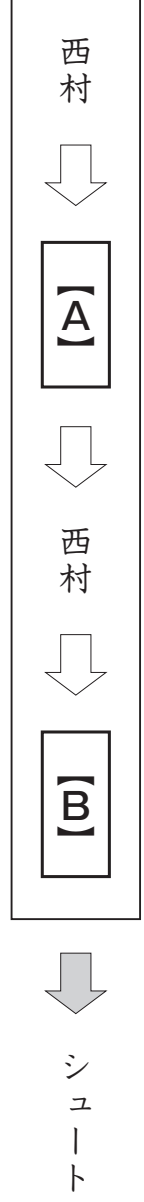


◆西村さんのチームは、西村・白石・川島の三人です。

西村さんの学級では、バスケットボールの学習で、三人対三人でのせめ方や守り方の練習をしています。次は、西村さんのチームのせめ方についてまとめた作戦図です。人やボールの動きを考えて、あとの問いに答えましょう。

一 西村さんのチームでは、ボールをわたす順番を次のように整理しました。次の
【A】 ・ 【B】
にあてはまる人の名前をそれぞれ書きましょう。

【ボールをわたす順番】



二 西村さんのチームでは、チームのせめ方を次のようにまとめました。 【ア】 ・

【イ】 の中に入るふさわしい内容を「だれが」、「どうする」ということが分かるように
書きましょう。

まず、コートの左側にいる西村さんが、中央にいる【A】さんにパスをします。その後、
西村さんは、ゴールに向かって走ります。

次に、
ア

そして、西村さんは、ドリブルをしてゴールに向かいます。コートの右側にいる【B】
さんも、西村さんの動きに合わせてゴールに向かって走ります。

それから、
イ

最後に、【B】さんは、ゴールに向かってシュートをします。

これで、国語Bの問題は終わりです。

平成21年度 全国学力・学習状況調査

平成21年4月 文部科学省